

部局名	生涯学習部	所属名	文化・スポーツ課	所属長名	頭司 孝弘	電 話	481-0305
-----	-------	-----	----------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4059		事務事業名称	市民文化振興事業					短縮コード	経常	4059	臨時	4060
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	生涯学習振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市補助金等交付規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
経済の高度成長期を経て、市民の生活や価値観が物質的充足度から精神的充足度へと変化していった。それらを背景に文化への関心が高まったことから市民文化祭を昭和47年より、文化団体の活動支援・育成を昭和49度より実施している。 また、昭和48年8月に市民会館、昭和56年6月に八千代台文化センター、昭和62年6月に勝田台文化センターがそれぞれ開設され、文化活動の拠点が整備されたのを機に、市民の文化芸術活動が活発に展開されるようになった。また、昭和55年に市内在住のプロの芸術家たちによる八千代市芸術文化協会の設立も文化芸術の振興に大きく寄与したと考えられる。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして						
文化団体や公民館サークルにおける文化活動は、財政状況の低迷にもかかわらず益々盛んになっている。文化活動は市民生活の心のよりどころとしてより一層求められており、青少年の心の発達のためにも、文化施策のさらなる推進が必要であるといえる。また、平成13年に国が「文化芸術振興基本法」を制定し、平成14年に「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第1次基本方針）」、平成19年に「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第2次基本方針）」、平成23年に「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第3次基本方針）」を策定した。この中には、地方公共団体の文化芸術の振興に関する責務が明記されている。 市民は単に文化・芸術に触れるだけではなく、自らが発表する機会と場の提供を望んでいる。今後、このような市民の文化芸術に対する機運の盛り上がりを考慮しながら、事務事業の推進を図っていくことが必要であると考えられる。					大項目（節）	03	第3節文化						
					中 項 目	01	1. 市民文化						
					小 項 目	01	(1)文化活動の推進						
					細 項 目	01	①文化芸術団体、グループ等の育成						
02	②文化活動の機会の充実												
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・市民・文化団体（文化活動を行う団体）、補助金交付先：八千代市俳句連盟、八千代市短歌会、八千代交響楽団、八千代市合唱協会、八千代市茶道連盟、八千代管楽オーケストラ、八千代市謡曲連合会							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 1)市民文化祭の開催 計33部門 文化祭ポスター(デザイン画)を公募し、市民デザインのポスターを作成した。また、広報活動、会場確保、会場設営等を行った。 2)文化団体の活動支援・育成 3)芸術文化協会への支援 4)書道展、収蔵美術品展の開催 5)県民の日記念行事の開催							
	※平成24年度に計画していること： 平成23年度に同じ。							
意図 （何を狙っているのか）	市民が文化芸術に触れる機会を増やすことで文化芸術に対する関心を高めるとともに、市民の自主的な文化活動を促進する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市人口（3月末現在）	人	193,274	196,400	192,884	199,500	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	市民文化祭の参加者数	人	9,324	11,000	8,380	11,000	
	指標 2	市民文化祭の参観者数	人	38,213	51,000	37,016	51,000	
	指標 3							
成果指標	指標 1	市民文化祭への参加率（参加者数／市人口）	%	4.8	5.6	4.4	5.5	
	指標 2	市民文化祭への参観率（参観者数／市人口）	%	19.8	26	19.2	25.6	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	4059	事務事業名称	市民文化振興事業				所属名	文化・スポーツ課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			八千代市文化芸術の振興に関する基本方針に基づき、文化の振興を図るとともに、文化芸術情報だけでなく、団体が自立・運営できる方法や情報の提供等の支援を行う。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			団体の自立を促し、市民文化の向上を図る。なお、当該補助金は、平成２１年度から市民活動団体支援交付制度がスタートしていることから、平成２４年度をもって廃止する予定である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☒	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・市民レベルの音楽芸術フェスティバルの開催 ・若手の音楽家を地域で育てるための総合的な支援システム ・文化芸術基本条例の制定 ・美術品展の開催 ・作品に触れられる場所の提供 ・文化芸術に関する市主催事業の充実 ・アーティストバンクの構築									

所属長コメント	「八千代市文化芸術の振興に関する基本方針」に基づき、行政は、文化活動の発表の場の提供や情報提供などを行い、市民と協働で文化芸術の振興を図ってまいります。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									